

資料 1

(1) コミュニティバス「フラワー号」の利用状況について

令和3年度のフラワー号の運行については、令和2年度に引続き新型コロナウイルス感染症拡大の中での運行である。利用状況は令和2年度に比べ利用者は増加したものの、令和元年度に比べ大きく減少している。

① 3年間のコース別利用状況

令和3年度利用状況は386,173人、令和2年度に比べ39,001人、率にして約11.2%の増加となるが、令和元年度と比較すると103,706人、率にして約21.2%減少している。

利用者合計（人）										
年度	広田	共和	中山道	吹上	田間宮	馬室	笠原	常光	全体	
令和3年度	63,034	72,821	108,329	15,478	29,546	44,232	18,849	33,884	386,173	
令和2年度	59,240	62,360	93,701	12,476	29,068	42,577	15,691	32,059	347,172	
令和元年度	81,945	91,294	130,086	14,811	35,705	65,223	23,298	47,517	489,879	(増減率)
増減(R3-R2)	3,794	10,461	14,628	3,002	478	1,655	3,158	1,825	39,001	11.2%
増減(R3-R1)	-18,911	-18,473	-21,757	667	-6,159	-20,991	-4,449	-13,633	-103,706	-21.2%

② 各年度4月～8月のコース別利用状況

令和4年度の利用状況は4月から8月末までの累計で182,331人、令和3年度に比べ22,168人、率にして約13.8%の増加、令和2年度に比べ52,479人、率にして約40.4%の増加となるが、令和元年度と比較すると32,116人、率にして約15.0%減少している。

各年度4月～8月 利用者合計（人）										
年度	広田	共和	中山道	吹上	田間宮	馬室	笠原	常光	全体	
令和4年度	31,601	35,185	49,312	7,310	15,311	19,249	9,058	15,305	182,331	
令和3年度	26,220	30,313	44,786	6,003	12,445	19,039	7,424	13,933	160,163	
令和2年度	22,315	22,813	35,377	5,032	10,166	16,198	5,674	12,277	129,852	
令和元年度	34,350	39,794	55,855	6,699	15,405	30,430	10,649	21,265	214,447	(増減率)
増減(R4-R3)	5,381	4,872	4,526	1,307	2,866	210	1,634	1,372	22,168	13.8%
増減(R4-R2)	9,286	12,372	13,935	2,278	5,145	3,051	3,384	3,028	52,479	40.4%
増減(R4-R1)	-2,749	-4,609	-6,543	611	-94	-11,181	-1,591	-5,960	-32,116	-15.0%

③ 過去3年間の収支及び利用者数

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数(A) ()内は有料利用者数	489,879人 (403,041人)	347,172人 (261,143人)	386,173人 (285,494人)
運行費用(B)	145,698,269円	141,579,412円	152,164,912円
運行収入(C)	47,591,234円	36,388,280円	41,226,990円
収支率(C)/(B)	32.7%	25.7%	27.1%
市補助金額(D)=(B)-(C)	98,107,035円	105,191,132円	110,937,922円

【市補助金額】

105,191,132円 (R2) - 107,512,724円 (R3) = 2,321,592円増 (約2.2%の増加)

令和3年度は、令和2年度と比較して主な増加として燃料費コストが約390万円増加した。

(2) アンケート調査結果について

コミュニティバス「フラワー号」は5年ごとに運行コースや運行ダイヤなどの見直しを実施しており、令和6年度から新たな運行を予定している。本市のバス交通における課題や利用意向、満足度、ご意見等を調査し今後の取組の参考とするため、令和4年6月29日から令和4年7月29日の期間に市民2,000人やバス利用者、市ホームページにてアンケート調査を実施した。

【回答数】

郵送による市民アンケート 1,024人 (回答率49.9%)

市ホームページ 90人

車内アンケート 176人

合計 1,290人

※アンケート結果の報告書は、会議当日に配布いたします。

(3) 運行見直しの方針について

① 新運行に向けた検討事項について

現在のコミュニティバス「フラワー号」は、新型コロナウイルス感染症等の影響により利用者数は減少しているが、令和3年度は年間約38万人と多くの方々にご利用している。今後はデジタル化の推進による利便性の向上や、公共交通における脱炭素化への取組等も踏まえつつ、日常生活や通勤通学などの移動手段として、維持・継続していく必要があると考えている。

令和6年度からの新たな運行に向けた見直しの検討事項として、以下の内容を考えている。

【検討事項】

- ・バス車両の台数は変更しないことから、運行コース数は現行の8コースを基準に検討する。
- ・近年の苦情（騒音、振動、狭隘道路、交通状況等）などの状況を把握し、不具合が生じている区間について検討する。
- ・上尾道路などによる道路状況が変化した区間について検討する。
- ・道の駅の整備（箕田地内）への乗入れについて検討する。
- ・アンケート調査結果から多くの意見があるものについて検討する。
- ・開発による住宅の立地など環境変化における運行コースを検討する。
- ・乗降調査結果により利用者がいないバス停についての必要性を検討する。
- ・各コースの運行距離の増減による運行本数の調整を検討する。
- ・運行時間の増減について検討する。
- ・環境に配慮したEVバスの増台、航続距離による運行など今後の導入計画について検討する。

② 見直し案の提示について

令和6年度からの新たな運行については、検討事項を基に、現在の運行事業者の意見を伺い、令和5年2月頃までに新たな運行コース及びバス停についての案を決定し、次回の公共交通会議へ提案したいと考えている。

(4) EVバスの導入について

① 導入について

SDGs(エスディーゼーズ)の理念のもと、カーボンニュートラルの実現に向けた取組を積極的に推進するため、コミュニティバス「フラワー号」として運行する車両について、環境に配慮したクリーンエネルギーを動力とする小型電気バス車両を1台購入し、令和5年3月頃から運行を開始する。電気バスの導入により二酸化炭素排出量が削減され、環境にやさしいまちづくりを一層推進する。

販売店	ビーワイディージャパン株式会社
メーカー	BYD
車種	J6 都市型Ⅱ 29人乗り
総額	29,244,580円
航続距離	200km(冷房起動時 150km)
導入効果	燃料費及び維持管理コストは年間約36万円削減 バス車両1台が排出する年間約44.7トンの二酸化炭素を削減 (杉の木3,193本が1年間で吸収する二酸化炭素排出量に相当)
運行事業者	朝日自動車株式会社
運行コース	広田、共和、中山道コース 朝日自動車加須車庫及びふるさと館(関新田地内)に充電設備を設置し、 1日運行する予定。



② EVバスのラッピングデザインについて

コミュニティバス「フラワー号」に初めて導入するEVバス車両について、利用者が「フラワー号」と認識できるデザインの中で、市民や事業者に対して二酸化炭素排出量の低減など環境配慮への意識向上を図るため、EVバス外観に新たなデザインでラッピングを予定している。今後のスケジュールとして、車両の製作上、11月末までにラッピングデザインを決める必要があることから、本会議にて委員からデザインの仕様についてのアンケートを参考に、デザイン作成に着手する。

別紙1 EVバス外観デザインに関するアンケート調査票